

庭全体がテラスと考えればこんな方法も  
サンルームからの眺めを計算した  
花鉢レイアウトに注目  
(堀田園江さん/神奈川県)



▲寄せ植えの中にフラワーアレンジメントを  
組み合わせた、ぜいたくなテラス風ガーデン。  
ここは、花を楽しむための“園江ワールド”。

サンルームも自然たっぷり  
庭との一体感を



高低を工夫して  
花をベスト配置に

▲背の高い花鉢は窓などの器を活用して、高きを出す  
工夫を。これだけで花の眺めはグッとよくなる。



◀サンルームの花と緑のコー  
ナー。左はブミラという葉を  
ト音記号の形に仕立てたもの。  
右のテーブルは寄せ植えとフ  
ラワーアレンジメントで演出。

▲リビングの延長にあるサン  
ルーム。フラワーデザイナー  
の園江さんにとって、花を満  
出するチャレンジの場にもな  
っている。





▲5月になると脚光を浴びる藤棚も鉢植えから育てて伸ばしていったもの。アジの花を見ながらのティータイムは最高。

▶電気はつけて水を循環させている“つくばい”。ザクロと花を小鈴に飾って和風の落ち着いた風情を楽しむ。



▲小鳥用の巣箱もゼンキライの赤い実をアレンジすれば美しい花飾に早変わり。園江さん流のさりげない飾り方が美しさをいっそう引き立てる。



大胆にも庭全体を飯盛りのテラス風にし、土のない庭園で花を咲かせている園江さん。これなら草むしりなどの手入れも不要、という合理的な発想が生んだ庭づくりです。テラスの広さは約2坪。ここにバランスよく花々を演出するために活躍してくれているのが寄せ植えをした花鉢たちなのです。鉢なら動かすのも思いのまま。サンルームからの眺め

を計算して、四季折々いけばんよい位置に花を演出できるというわけ。しかも、園江さんはもうひとつの飾り方テクニクをこの庭で実現。枯れた花鉢があれば、オアシスにアレンジした切り花をそこにプラスしてしまおうというアイデアです。これなら好みの花もすぐに仲間入り。花満開の庭があつという間にてま上がりです。

▶園江さんの庭の見せどころのひとつが寄せ植え。なるべく近い色調の花同士を組み合わせ、穏やかなイメージになるように仕上げるのがポイント。



寄せ植えを生かしたコンテナガーデンでポリウムを

▼サザンカ、ノボタン、ケイトウ、アリッサム、白いキクなど、たくさんの花を少量ずつ。高低のバランスを考えながら寄せ植えを。



運田さんの花メール伝言板

花を育てるうえで心がけているのは、枯れそうな花に“頑張ってる”などと声をかけてあげること。少しは元気がなって長く咲いてくれるような気がします。また、室内に花を飾る場合、アレンジメントの水の中にローズラベンダーなどのエッセンシャルオイルを垂らしておくと部屋じゅういい香りに包まれますよ。



▲藤棚のまわりにも、数々の鉢を並べて華やかなポリウム感を演出。これなら組み合わせ、レイアウトも自由直営。